

伝送ラインチェックユニット AD-12 tkSK-028

電源不要型

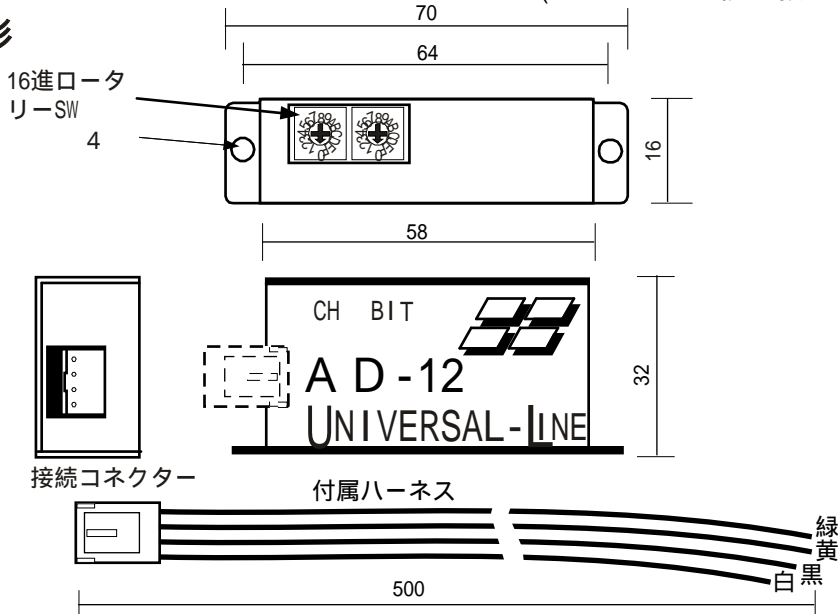
Ver-3.8

特徴

伝送ラインを詳細にチェックするユニットです。伝送の256ビットあるすべてのクロックの幅と高さを監視します。1/1000秒づつ状態をチェックします。瞬間の断線やショート、リークを見逃しません。異常時に警報を出力します。

(トランジスタ出力B接モード)

外形

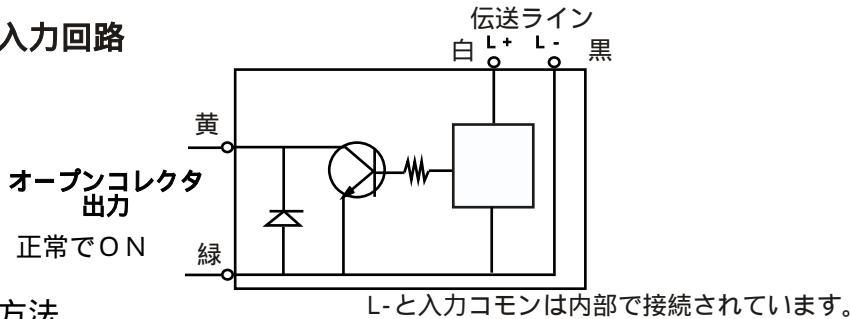


アドレス設定

アドレス	CH	BIT
001	0	0
002	0	1
003	0	2
...
011	0	A
...
017	1	0
...
128	7	F
...
177	B	0
...
256	F	F

スペースの都合で省略していますが004,005...と使用できます。その割合でBITを増やして下さい。

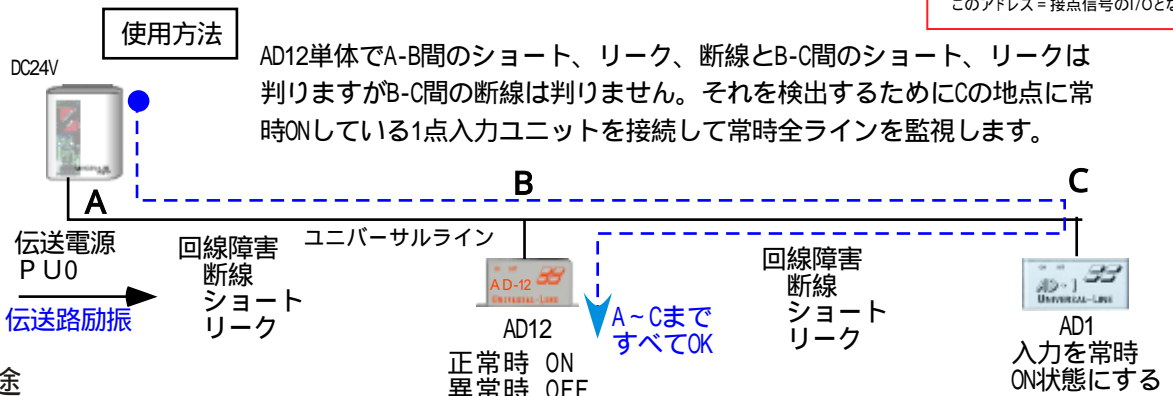
内部入力回路



設定例

アドレスを5番にする場合
CH=0, ロータリースイッチBIT=4
アドレスを12番にする場合
CH=0, ロータリースイッチBIT=B
アドレスを251番にする場合
CH=F, ロータリースイッチBIT=A

接続方法



用途

・伝送ラインのチェック 及び 必要な出力回路のユニット

仕様

消費電流	1.5mA以下
制御出力電圧	MAX 30V
制御出力電流	MAX 0.1A
取り付けピッチ	64mm (4)
アドレス設定	1 (00 HEX) ~ 256 (FF HEX) ロータリーSW
質量	約80g

アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256あり、このアドレス=接点信号のI/Oとなります。